

# 総合人間科学 情報医学

## 1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	1人
病院教授	0人
准教授	0人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
診療助教	0人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合 計	1人

## 1-2 教員の異動状況

<p>谷 重喜(教授)(H1.4.1~9.9.30 助手 ; H9.10.1~19.3.31 助教授 ; H19.4.1~23.4.30 医療情報部准教授 ; H23.5.1~現職 )</p>
--

## 2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1)研究・開発等のテーマ名	分光光学的CTスキャン装置の開発
	(2)研究・開発等の背景、目的、内容の概略	光学的透過性を持つ対象物の断層撮影並びに立体再構築を行うとともに、分光光源を利用した成分分布の立体的組織偏在性を観測する。
	(3)前年度までの状況	断層像の再構築に必要な多角度からの可視光源による観測装置の構築、ならびに画像再構築のためのコンピュータプログラムの作成を行った。
	(4)当該年度内の進捗	特異的波長に依存しない広範囲の波長帯域の画像再構築のためのコンピュータプログラムの作成を行う。
	(5)翌年度の方針と予想	分光光源装置と観測装置の一体的なシステムへと拡張する予定である。
2	(1)研究・開発等のテーマ名	生体内鋼製デバイスの内部観測を目的とした超音波断層装置の開発
	(2)研究・開発等の背景、目的、内容の概略	生体内に埋め込まれた各種デバイスは、経時的に劣化するもののその内部構造は通常の超音波装置やX線CTスキャンでは内部観察できないため、媒体進行性の高い超音波エコー装置の開発を行う。
	(3)前年度までの状況	鋼製デバイスの金属疲労を前提とした、超音波の浸透性が高い波長を選択的に観測するための超音波装置の設計を行った。また、人体骨格系の簡易的な構築を行う手法を3Dプリンターを用いて行った。
	(4)当該年度内の進捗	人為的に体内埋設デバイスの金属疲労を作成するための装置の設計を行っている。
	(5)翌年度の方針と予想	実測値とコンピュータ・シミュレーションとの差を低減することを行う。
3	(1)研究・開発等のテーマ名	人工知能を利用した漢方処方の方剤解析の研究
	(2)研究・開発等の背景、目的、内容の概略	現在、臨床に利用されている漢方製剤の各種処方はいくつかの生薬原料を複合したエキス製剤である。この処方理論や方剤の構成原理は十分に伝承的に述べられているものの科学的な解明がされるには至っていない。個々の漢方製剤の処方構成を人為的に解析することは多大な時間が要するため解析手法を人工知能的にコンピュータにて実現することにより、多くの漢方処方の方剤構成原理を解明することを行う。

## 3 論文、症例報告、著書等

	平成28年度
(1)原著論文数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
そのインパクトファクターの合計	0.000
(2)論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3)総説数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4)著書数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
(5)症例報告数(うち和文のもの)	0編 ( 0編 )
そのインパクトファクターの合計	0.000

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0 件

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1)科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	1 件	180 万円
(2)厚生労働科学研究費	0 件	0 万円
(3)日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	0 万円
(4)科学技術振興機構(JST)による研究助成	0 件	0 万円
(5)他政府機関による研究助成	0 件	0 万円
(6)財団助成金	0 件	0 万円
(7)受託研究または共同研究	0 件	0 万円
(8)奨学寄附金	0 件	0 万円

(1)科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)

1. 谷重喜(代表), 挑戦的萌芽研究, 体内埋設インストゥルメントの経年劣化を探索評価するための広帯域超音波装置の開発, 平成28年度~平成29年度	180万円
---	-------

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1)国際学会	(2)国内学会
1)基調講演・招待講演回数	0 件	0 件
2)シンポジウム発表数	0 件	0 件
3)学会座長回数	0 件	1 件
4)学会開催回数	0 件	0 件
5)学会役員等回数	0 件	1 件
6)一般演題発表数	0 件	

(2)国内学会の開催・参加

3)座長をした学会名

1. 谷重喜、第36回医療情報学連合大会、2016年11月、パシフィコ横浜
---------------------------------------

5)役職についている国内学会名とその役割

1. 谷重喜、医療情報学会評議員
------------------

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1)外国	(2)国内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1)国際共同研究	0 件
(2)国内共同研究	0 件
(3)学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

13 その他の業績